

鳥取県日南町・中央中国山地 地域地区

重点プロジェクト(6)日南町版林業担い手育成事業

“森と人づくり”による林業後継者の育成

～脱炭素社会に向けた SDGs 未来都市の挑戦～

現状と課題

日南町は、中国山地のほぼ中央に位置し、町面積の9割が森林の中山間地であり、町内の素材生産量は間伐を中心に約9万㎡の材を搬出している林業地域である。森林を資源として活用し、かつ地球環境及び生態系に配慮した林業を目指し、FSC森林認証を取得。しかし、林業従事者の減少及び高齢化により、今後、皆伐・再造林を推進する上で、更なる人材を確保する必要があった。

取組概要

平成21年度から地域おこし協力隊制度を活用した「林業研修生制度」を創設し、林業従事者の確保に努めてきたが、研修ニーズの多様化、既存の研修カリキュラムでは対応できない状況となり、新たな展開を模索。日南町で学び、全国で活躍できる林業人材、フォレストマネージャーを育成しようと、全国初の“町立”での林業アカデミーを開校した。

取組の成果・効果

平成31年4月「にちなん町立林業アカデミー」を開校。全国から7名の研修生を受け入れた。実践重視、そして安全性にも配慮した研修カリキュラムにより1年かけて林業人材を育成。就職先を町内に限らず、全国の林業を担う人材を養成。令和2年4月には5名の林業の担い手が卒業。2期生7名、3期生13名、4期生12名がそれぞれの地域で林業の担い手として活躍している。(※卒業生27名のうち、19名が鳥取県内に在住している(うち、日南町在住13名))

取組が進んだ要因

林業アカデミーの専任講師3名のほか、運営サポートチーム(森林組合や林業機械メーカー、国・県の研究機関等)の協力を得て、年間を通じたカリキュラムを構築。また、次世代を担う林業人材を育成するため、林業アカデミーの学生が“講師”となって森林教育を推進。町内外の子どもから大人まで一生涯を通じた森林教育プログラムも構築している。

これから取組む地域へのアドバイス

日南町と同じような森林を有する中山間地域では、森林を資源として活用することで、担い手としての人材の確保・育成、森林教育、脱炭素社会の実現、森林サービス産業など、多様な取り組みが推進できるものとする。

【担当】

鳥取県日南町役場 農林課 荒金 太郎

【連絡先】

メール: arakane@town.nichinan.lg.jp

電話: 0859-82-1111

URL: <https://www.town.nichinan.lg.jp/>



全国初の“町立”林業アカデミーを開校
毎年10名程度が入学し、1年間の学びを得る



日本最大級の演習林での現地実習のほか、
積極的に技術大会等へも参加している



子どもから大人まで、“一生涯”を通じた
森林教育により、将来の林業人材を育成する



コロナ禍による県外への外出自粛を踏まえ、
森林を活用したSDGs修学旅行の誘致を行った